



日本がん検診・診断学会誌

<<<<< 目 次 >>>>>

●巻頭言

- 日本のがん検診：2017年の現状と課題 105
鈴木和浩（群馬大学大学院医学系研究科泌尿器科学教授）

●基調講演

- がん検診は過剰診断時代においても
がん死亡の30%を救命できる可能性がある 108
渡辺 洵（渡辺記念長命研究所・所長、京都府立医科大学・
明治国際医療大学・名誉教授）

●総 説

- 胃がん検診－現状と課題－ 118
一瀬 雅夫（帝京大学医学部 特任教授）

- 肺がん検診について
－岡山県での取り組みを踏まえて－ 122
西井 研治（岡山県健康づくり財団附属病院）

- 子宮頸がん検診の現状と課題
－HPV-DNA 検査併用検診からの検証－ 128
寺本 勝寛（山梨県厚生連健康管理センター）

- 肺がん検診での過剰診断 134
中山 富雄（大阪国際がんセンター がん対策センター疫学統計部）

- 子宮頸がん検診に関する精度管理
－八王子市の事例から－ 137
新藤 健（八王子市医療保険部成人健診課 主査）

- Multiparametric TRUS（経直腸的超音波断層法）を
用いた前立腺癌診断－現況と限界－ 141
沖原 宏治（京都府立医科大学 泌尿器科）

●原 著

- 本邦における前立腺がん検診と
福岡市前立腺がん検診の現状 150
古賀 寛史（福岡市泌尿器科医会前立腺がん検診委員会、
青洲会クリニック泌尿器科）、山口 秋人、中村 元信、
宮崎 良春、内藤 誠二

- 乳がん診断における新しいモダリティと
個別化検診乳房濃度の重要性
－Volparaを使用した乳房濃度－ 155

沢田 晃暢（昭和大学 医学部 乳腺外科）、中村 清吾、
明石 定子、桑山 隆志、山口 由紀子、廣瀬 正典

- マンモグラフィにおける乳腺含有率の定量化と
病変の検知に関する検討 160

野間 翠（県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科）、
松浦 一生、板本 敏行、石蔵 麻里、斉藤 浩征

- 腹部超音波健診発見例の腎血管筋脂肪腫の経過観察 165

林 有美子（一般財団法人京都工場保健会）、沖原 宏治、
長坪 由香、武田 和夫

- 福井県の住民検診におけるHPV 検査併用検診導入の
試み－Fukui Cervical Cancer Screening Study の
1年目の結果－ 169

黒川 哲司（福井大学医学部 産科婦人科）、大沼 利通、
品川 明子、知野 陽子、小林 基弘、吉田 好雄

- 血清ABC分類と内視鏡ABC分類を組み合わせた
ハイブリッドABCを用いた胃がんリスクの層別化 176

乾 正幸（医療法人和泉会 乾内科クリニック）、大和田 進、
乾 純和

●経 験

- 肺癌における区域切除や胸腔鏡下手術前の
3次元CT画像による画像評価が有用であった3症例 186

矢ヶ崎 秀彦（神奈川県立がんセンター呼吸器科）、山田 耕三、
近藤 哲郎、加藤 晃史、斎藤 春洋、仁藤 まどか、
永島 琢也、伊藤 宏之、中山 治彦、横瀬 智之

●症例報告

- 比較読影により早期に発見した
トリプルネガティブ乳癌の一例 194

安井大介（国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター
乳腺外科）、村上千佳、重松英朗、尾崎慎治

- 会 告 197